

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】令和 7 年 2 月 12 日(2025.2.12)

【国際公開番号】WO2022/270325  
 【出願番号】特願 2023-529834(P2023-529834)

【国際特許分類】

**B 3 2 B 27/00(2006.01)**

**B 3 2 B 7/06(2019.01)**

**B 3 2 B 7/023(2019.01)**

**B 3 2 B 27/34(2006.01)**

10

【F I】

B 3 2 B 27/00 L

B 3 2 B 7/06

B 3 2 B 7/023

B 3 2 B 27/34

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 2 月 3 日(2025.2.3)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無機基板、耐熱高分子フィルム、保護フィルム、保護フィルム剥離補助テープをこの順に含み、

前記無機基板と前記耐熱高分子フィルムとの 90 度剥離法による接着強度 F 1 と、

前記耐熱高分子フィルムと前記保護フィルムとの 90 度剥離法による接着強度 F 2 と、

30

前記保護フィルムと前記保護フィルム剥離補助テープとの 90 度剥離法による接着強度 F 3 とが

$F 3 > F 1 > F 2$  (1)

の関係にあることを特徴とする積層体。

【請求項 2】

前記保護フィルムの紫外線 50%カットオフ波長が 240 nm 以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の積層体。

【請求項 3】

前記積層体における 120 で 10 分間加熱前後の前記 F 2 の変化率が 50% 以下であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の積層体。

40

【請求項 4】

前記保護フィルムの面積 B 1 と前記保護フィルム剥離補助テープの面積 B 2 が  $B 1 > B 2$  の関係にあることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の積層体。

【請求項 5】

前記保護フィルムの前記耐熱高分子フィルムと接する面の算術平均うねり W a が 30 nm 以下である請求項 1 または 2 に記載の積層体。

【請求項 6】

前記耐熱高分子フィルムがポリイミド、ポリアミド、およびポリアミドイミドからなる群から選択される少なくとも 1 種類を含むことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の積層体。

50

**【請求項 7】**

前記耐熱高分子フィルムが透明ポリイミドであることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の積層体。

10

20

30

40

50